

令和8年度



人と防災未来センター 研究調査員 募集！

人と防災未来センターでは、阪神・淡路大震災の経験と教訓や学術的な知見、災害時における全国自治体への現地支援活動などを通して蓄積された研究成果に基づき、災害対策専門職員の育成研修や、自治体・企業・コミュニティなどの災害対策や立案に役立つ実践的な防災研究を行っています。

このたび、地方自治体などで防災に携わる職員を対象に、当センターにおいて災害被害の軽減に資する調査・研究を行う「研究調査員」を募集しますので、皆さん奮ってご応募願います。

研究調査員のお仕事

当センターの研究成果を国内外に普及・発信し、当センターのミッションである災害文化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援など、安心・安全な市民協働・減災社会の実現に向けて、業務を担っていただきます。

【主な業務】

- ▼災害被害の軽減など実践的な防災研究と研究成果の発表
- ▼被災自治体への支援活動・現地調査の実施
- ▼災害対策専門研修の企画・コーディネーター
- ▼市民、学生などとの協働による交流事業の企画 等

研究調査員の特徴

○当センターの研究員や国内の防災研究の第一人者である上級研究員など専門家から指導や助言を受け、防災現場のニーズに対応した研究内容としていくことができます。

○災害対策専門研修や被災自治体への支援活動に携わり、自治体などの職員との交流やネットワークづくりができます。

○研究を通して、皆さんが持つ防災への知識や専門性が思う存分に発揮できるとともに、当センターの研究員と切磋琢磨しながら、さらに伸ばしていただくことができます。

○当センターでの研究成果を政策として実現することができます。



これまで20人の研究調査員が在籍し、職場に戻られた後、当センターで得た経験や研究成果を活かし、防災計画の策定に関わるなど、防災・危機管理部門の幹部職員として活躍されています。

＜裏面もご覧ください＞

先輩研究調査員からのメッセージ



塩津 達哉さん【令和5年4月～令和6年3月】

(現：吹田市総務部危機管理室)

人防では、災害に関して①専門的な知識の習得、②災害対応を体感、③人脈を形成することができます。特に②と③については、通常の自治体では、なかなか経験できないことだと思います。②では、全国問わず災害発生後すぐに被災地に行くことで被災現場の状況や各自治体の災害対応を体感することができます。様々な現場を見ることで発災時のイメージを明確に持つことができます。③では、研修などを通じて自治体の職員をはじめ、防災に携わる多くの方々と知り合え、連絡を取れる関係を築くことができます。

ここで経験することは、皆さんの自治体の災害対応力の向上だけではなく、将来のキャリア形成にもつながるはずです。



杉原 優太さん【令和6年4月～令和7年3月】

(現：鳥取県生活環境部くらしの安心局まちづくり課
緑地公園担当 係長)

災害対応、災害対策を深く考えるのに大変有意義でした。自治体職員は通常業務をこなすだけで多くの時間を使うため、なかなか突き詰めて考えることやいろいろな場所に行って視察や見学をする機会が少ないと思います。ここでは、自分の研究、自己研鑽に多くの時間を使うことができます。また、人防の研究員の方以外にも多くの防災研究者の方と知り合いになれます。

ぜひ、研究調査員として人防に来てください。違った視点で防災が見れると思います。

応募の詳細

人と防災未来センターホームページの「採用情報」より募集要項をダウンロードしてください。 <https://www.dri.ne.jp/overview/recruit/>

【応募期限】

令和7年11月28日（金）【郵送のみ受付】

<応募にあたっての留意点>

○勤務条件

当センターでの常勤となります。また、服務については、採用決定時に協議のうえ、派遣元の地方自治体等と協定を締結します。

○勤務期間

原則として令和8年4月から1年以内（6か月以上可）で、派遣元と協議のうえ決定します。（詳細は募集要項をご覧ください）

○費用負担

勤務期間中の給与、手当、社会保険料等は派遣元に負担いただきます。
当センターの職務で出張したときは、当センターより旅費を支給します。
研究に要する費用は、当センターが負担します。

提出先・お問い合わせ

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター 事業部普及課

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5-2

電話 078-262-5066

Eメール mirai-fukyuuka@dri.ne.jp